

# 海と日本プロジェクト むなかたSDGs教室



## 事業報告書

2023年3月27日



- |                               |               |
|-------------------------------|---------------|
| 1.プロジェクト概要                    | ・ ・ ・ p.2-4   |
| 2.記者会見                        | ・ ・ ・ p.5-8   |
| 3.むなかたSDGs教室<br>イベントDAY1・DAY2 | ・ ・ ・ p.9~42  |
| 4.その他イベント                     | ・ ・ ・ p.43-53 |
| 5.イベント成果物                     | ・ ・ ・ p.54-71 |

# プロジェクト概要

### 企画趣旨

2022年7月「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は世界遺産登録から5周年を迎えました。しかし、沖ノ島をはじめとする宗像市内の海岸にはペットボトルやプラスチック片などの海洋ごみが大量に押し寄せている状況です。

そこで海について学びの機会を提供しようと、読売新聞西部本社、福岡県立少年自然の家「玄海の家」、宗像市の3者で“海を守ろうむなかた実行委員会”を立ち上げ、宗像市内及び周辺地域の小学4年生～6年生を対象としたイベント「むなかたSDGs教室」を企画しました。



神宿る島 ごみ襲う  
世界遺産で、福岡県宗像市の約  
1000年ある沖ノ島に、海洋ごみ  
が押し寄せ、上陸が禁止さ  
れ、古代の祭祀遺  
跡や豊かな自然が  
守られてきた「神  
宿る島」。交代で  
島を守る宗像大社  
の神職が回収して  
本土に持ち帰って  
いるが、海中で身を清める現場  
にも打ち上げられたペットボトル  
やプラスチック片が散乱してい  
る。  
対馬海峡の恵みを受け、豊かな  
漁場が広がる島の周辺海域に流れ  
込む膨大な量のご  
みは、漁業や生態  
系を脅かす原因で  
もある。海洋ごみ  
の問題に取組む  
九州大学理工学  
部准教授（海岸生態工学）は「宝の  
海は今や、ごみの海、災害レベル  
です」と指摘する。

2021年11月27日付 読売新聞朝刊

### ロゴマーク



本プロジェクトの趣旨を明確に捉え、見る人の印象に残るロゴマークを制作しました。宗像市が誇る美しい海や観光の目玉でもある建造物などの魅力をロゴデザインに落とし込み、“海の尊さ”を感じさせるものとなりました。

「宗像大社の鳥居」「玄海灘の海」「朝日」の3つを図案化し、表現。朝日の輝きが海面から鳥居へと筋を描く「光の参道」から、明るく楽しい教室（イベント）という思いをシンプルに親しみやすいロゴにまとめています。

『むなかたSDGs教室』は、読売新聞西部本社、福岡県立少年自然の家「玄海の家」、宗像市で構成する「海を守ろうむなかた実行委員会」及び下記の協力事業者により実施しました。

## 海を守ろうむなかた実行委員会

読売新聞西部本社

…事業企画・管理、イベントの運営

福岡県立少年自然の家「玄海の家」

…会場提供、イベントの運営、カヌー体験・海洋ごみアートづくりの運営

宗像市

…事業企画、関係者調整、イベントの運営、世界遺産セミナーの運営

## 協力

宗像漁業協同組合（神湊支所）

…地引網体験の運営

一般社団法人シーズンズ

…魚さばき体験・ビーチクリーン・海洋ごみ講座の運営

むなかた大学のまち協議会

…学生ボランティア派遣\*

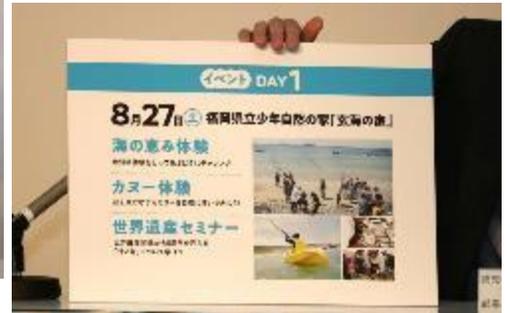
宗像市教育委員会

…イベント告知物・成果物の配布協力

\* 学生ボランティアは、福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学、宗像高校、東海大学付属福岡高校の4校から参加。

# 記者会見

イベント開催に先立ち、2022年6月9日（木）に海の道むなかた館において、海を守ろうむなかた実行委員会の3者（読売新聞西部本社、福岡県立少年自然の家「玄海の家」、宗像市）による合同記者会見を執り行いました。



### <記者会見概要>

日 時 : 2022年6月9日（木） 11:00～11:40

場 所 : 海の道むなかた館（宗像市深田588）

出 席 者 : ◇読売新聞西部本社

事業推進室 企画共創部長 瀧ノ上 将孝 \* 実行委員長

◇福岡県立少年自然の家「玄海の家」

所長 桂木 俊樹

◇宗像市

市長 伊豆 美沙子

内 容 : プロジェクト概要、イベント参加者募集の告知など

出席メディア : 読売新聞社、毎日新聞社、福岡放送（FBS）、

RKB毎日放送

## FBS 福岡放送

6月9日（木）「めんたいワイド」にて放映



### 福岡県宗像市で海と世界遺産を学ぶ 『むなかたSDGs教室』

この記事シェア 2022.06.09 19:12



地引き網や海岸清掃を通して海や世界遺産について学ぶイベントが福岡県宗像市で開催されます。

『むなかたSDGs教室』と名付けたイベントを開くのは、福岡県宗像市や読売新聞などで作る、『海を守ろうむなかた実行委員会』です。

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産に登録されて5周年を迎えるのに合わせ、子どもたちに世界遺産とそれを育んだ宗像の海について楽しみながら学んでもらおうと企画されました。

8月27日と9月17日の2日間、地引き網やカヌーを体験したり海岸のごみを拾ってアート作品にしたり、学んだことを新聞にまとめる予定です。

対象は宗像市や周辺の小学4年生から6年生で、定員はそれぞれ60人。参加は無料です。

申し込みは6月29日から8月5日まで、インターネットの専用フォームで受け付けます。

## RKB 毎日放送

6月9日（木）「タダイマ！」にて放映



テレビ ラジオ イベント アナウンサー シリーズ YouTube ショッピング



2022-06-09

### 「世界遺産」登録5周年記念 宗像で「SDGs教室」開催へ 福岡

「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録5周年を記念して、小学生を対象としたSDGs教室が開催されることになりました。

宗像市 伊豆美沙子市長「世界遺産の海を守る気持ちを育んでいただくために、次世代の子供たちを育てるプロジェクトを実施することとなりました」

宗像市は9日の会見で、小学4年生から6年生を対象とした『むなかたSDGs教室』を、今年の8月から9月にかけて開催すると発表しました。「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が、世界遺産に登録されて今年で5周年を迎えることを記念し、海での体験を通して世界遺産の海を守る気持ちを育んでもらおうと企画されました。

最初のイベントは、8月27日の開催で、地引き網体験やカヌー体験に加え、世界遺産に関するセミナーも開かれます。また、9月17日は海洋ごみについて学ぶため、海岸のごみ拾いやごみを使ったアート作りが予定されています。いずれも参加費は無料で、申し込みは6月29日から専用のフォームで受け付けます。



## 読売新聞

### 6月10（金）付 福岡版朝刊にて掲載

## 読売新聞オンライン

トップ 新型コロナ ウクライナ 紙面ビューアー オピニオン 連載 コラム ... よみほランド

新着 社会 政治 経済 スポーツ 国際 地域 科学・IT エンタメ・文化

ホーム > 地域 > 九州発 > ニュース

### 海守るSDGs教室開催 8、9月宗像市と本社など...『神宿る島』世界遺産登録5周年で

2022/06/10 05:00

この記事をストックする



「むなかたSDGs教室」の開催を発表した伊豆市長（中央）

「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録5周年を記念した関連事業「むなかたSDGs教室」が8月27日と9月17日、宗像市内で開催される。読売新聞西部本社、県立少年自然の家「玄海の家」、市でつくる「海を守ろうむなかた実行委員会」が9日発表した。

公益財団法人・日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で、小学4～6年生を対象に行う。



施工管理経験者2万人以上 (PR)ヒューマン



社長は社員を“褒めない”。V字回復「ホッピー」、キリッとほろ苦... (PR)ヒューマン

Recommended by @utbrain

1日目は玄海の家を会場に、地引き網でとった魚をさばく海の恵み体験、カヌー体験、沖ノ島について学ぶ世界遺産セミナーがある。

2日目は鐘崎海岸と世界遺産ガイダンス施設・海の道むなかた館で、ゲーム形式で浜をきれいにするビーチクリーン、漁業者から海について学ぶ海洋ごみ講座、学んだことをまとめるオリジナル新聞づくりなどが行われる。

同館で記者会見した伊豆美沙子市長は「世界遺産の根底にある海への感謝を子どもたちに伝える機会にしたい」と語った。

日産車体で加わできる。無料。

問い合わせは平日に実行委員会（092・715・4354）へ。

\* 毎日新聞は掲載確認とれず。

# むなかたSDGs教室 イベントDAY1・DAY2

## A4チラシ

「むなかたSDGs教室」イベントDAY1・DAY2の参加者募集にあたり、チラシを作成し、配布しました。

<表>



<裏>



### <主な配布先と部数> 発行部数：20,000部

- 宗像市内小学校（4～6年生に個別配布）・・・2,845部
- 福津市内小学校（校内に設置）・・・900部
- 読売新聞朝刊折込・・・9,790部
- ※折込エリア：宗像市周辺
- 読売KODOMO新聞折込・・・210部
- ※折込エリア：福岡県全域
- 読売新聞西部本社1Fロビー・・・2,000部
- 宗像市役所内・・・2,000部
- 福岡県立少年自然の家「玄海の家」内・・・2,000部

## 夏の課外授業 in むなかた

宗像市発行の広報冊子及びWEBサイトに掲載しました。

発行部数：約8,500部（主な配布先：宗像市内小学校）

### <広報冊子>

### <WEBサイト>

**イベントの受付は終了しました**

福岡県立少年自然の家「玄海の家」

**むなかたSDGs教室 (イベントDAY)**

地別艇体やカヌー体験で海を楽しむ体験活動。世界遺産登録から50年を記念する舟ノ島などについて学ぶセミナーを用意しています。夏休み最後の思い出づくりに、ぜひ参加ください！

場所	福岡県立少年自然の家「玄海の家」
住所	神楽1276
時間	9時から17時30分
定員	0人 注：応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
対象	小学4年から6年生
料金	無料
申込	要予約 注：8月5日（金曜日）締切。イベントの詳細及び予約はWEBサイトへ。
電話	092-715-4354（実行委員会事務局【英語新聞西部本社 企画共創部内】）注：受付時間 平日10時から17時
FAX	092-715-4947
HP	<a href="https://sasetto.jp/planning/entry-1738.html">https://sasetto.jp/planning/entry-1738.html</a>

主催 海を守るうむなかた実行委員会

QRコード

## むなかたSDGs教室 DAY1 概要

日 時 : 2022年8月27日(土) 9:00~17:30  
 会 場 : 福岡県立少年自然の家「玄海の家」  
 参 加 者 : 小学校4年生~6年生 計55名\*  
 ボランティア : 福岡教育大学 7名  
                   日本赤十字九州国際看護大学 4名  
                   福岡県立宗像高校 4名  
                   東海大学付属福岡高校 10名 計25名\*  
 \*小学生当初参加60名、ボランティア当初参加38名  
 (コロナ感染等により当日欠席)

### 【タイムスケジュール】

時間	項目	場所
9:00	「玄海の家」集合	——
9:10	開会式	集会室
9:40	地引網体験	浜
10:50	魚さばき体験	野外炊飯場
12:00	昼食	食堂
13:00	カヌー体験ガイダンス	運動広場
13:50	カヌー体験	浜
16:15	世界遺産セミナー	集会室
17:10	閉会式	集会室
17:30	解散	——

\*会場までは、小学生については保護者による送迎とし、ボランティアについては貸切バスで送迎。

### 開会式

内容：主催者及び関係者挨拶、注意事項の説明、班内でのアイスブレイク\*、アンケート回答など。

\* イベント中は1班あたり、小学生6名+ボランティア3名程度の班をつくり、合計10班で活動してもらいました。



### 地引網体験

講師：宗像漁業協同組合（神湊支所）

内容：事前に設置された網を全員で協力して陸に引き上げました。陸に上がった網にはブリやヤズなど多くの魚がかかりました。



### 魚さばき体験

講師：一般社団法人シーズズ

内容：地引網で獲れた魚を1人1匹ずつ内臓やエラなどを処理してさばきました。  
さばいた魚は各自持ち帰り、自宅で食べてもらいました。



### カヌー体験ガイドス

講師：福岡県立少年自然の家「玄海の家」

内容：カヌー体験時の注意事項や準備運動を行いました。



### カヌー体験

講師：福岡県立少年自然の家「玄海の家」

内容：班内でローテーションし、1人ずつカヌーを漕ぎました。



### 世界遺産セミナー

講師：宗像市教育子ども部世界遺産課

内容：海とのつながりが深く、2022年に世界遺産登録から5周年を迎えた「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群と海の環境について学ぶセミナーを行いました。



### 閉会式

内容：主催者及び関係者挨拶、アンケート回答など。



△集合写真

### 写真



◁イベントDAY1の様子を動画に収めています。

参加した小学生にイベント前とイベント後でアンケートを実施しました。

## 【イベント前 アンケート】

### Q.あなたは海が好きですか？

選択肢	回答数	割合
はい	44	80.0
いいえ	0	0.0
どちらでもない	11	20.0
合計	55	100%

### Q.あなたは海の生き物や環境問題についてどのくらい関心がありますか？

選択肢	回答数	割合
大変興味がある	15	27.3
興味がある	18	32.7
普通	19	34.5
あまり興味がない	3	5.5
興味がない	0	0.0
合計	55	100%

### Q.あなたは海洋ごみ問題を知っていますか？

選択肢	回答数	割合
はい	48	87.3
いいえ	7	12.7
合計	55	100%

## Q.1年に何回、海や水族館などに遊びに行きますか？

選択肢	回答数	割合
週に1回以上	1	1.8
月に1回以上	6	10.9
2・3カ月に1回程度	14	25.5
半年に1回程度	16	29.1
年に1回程度	16	29.1
全く行かない	1	1.8
無回答	1	1.8
合計	55	100%

## 【イベント後 アンケート】

## Q.イベントの内容はどうでしたか？

選択肢	回答数	割合
とてもよかった	43	84.3
良かった	6	11.8
普通	0	0.0
あまり良くなかった	0	0.0
良くなかった	0	0.0
無回答	2	3.9
合計	51	100%

## Q.イベントに参加して、海の生き物や環境問題についての興味は変化しましたか？

選択肢	回答数	割合
大きく変化した	23	45.1
変化した	20	39.2
あまり変化しなかった	6	11.8
全く変化しなかった	0	0.0
わからない	2	3.9
合計	51	100%

## 【小学生】イベントの感想（抜粋）

No.	回答
1	地引網がすごく大変だったけど楽しかった。
2	世界遺産を通じて海ごみ問題のことを考えると、解決すべき問題だと思いました。
3	自分は福岡市に住んでいるが、宗像市の漁や歴史にふれることができ、とても興味深い経験となりました。魚をさばくのはとても大変でしたが、漁師さんがいつも頑張って下処理をしていること実感できて、とてもありがたい気持ちになりました。
4	海にはごみがいっぱいあることがわかりました。
5	このイベントに参加して、海のことや世界遺産のことについて少し詳しくなりました。
6	初めてカヌーに乗って楽しかった。
7	友達がつくれてうれしかった。
8	魚のさばき方、地引網の仕方、カヌーのこぎ方など知らなかったことがたくさんあって面白かった。
9	海やいろいろなところのごみ拾いをできるだけしたい。
10	魚さばき体験が面白かった。家のみんなにも自慢したいと思った。
11	地引網体験の網がとても重かった。
12	魚さばきをほぼ一人でさばくことができたので良かったです。
13	いろんなことができ、いろんなことを学べたのでまた参加したいと思いました。
14	カヌーがゆれて少し怖かったけどとても楽しかったです。魚のさばき方を教えてもらったので、家でもやってみようと思いました。
15	今日できた友達と一緒に色々な体験ができて楽しかったです。
16	毎年ごみが800万トン流れ着いていることに驚いた。
17	世界遺産にルール・決まりがあったので驚きました。
18	家に帰って下処理した魚を家族と一緒に食べたいです。
19	世界遺産について知って、みんなに伝え世界遺産の大切さを広めたいと思いました。
20	ボランティアの人と仲良く協力できた。

参加した**ボランティア**にイベント前とイベント後でアンケートを実施しました。

## 【イベント前 アンケート】

### Q.あなたは海が好きですか？

選択肢	回答数	割合
はい	17	68.0
いいえ	0	0.0
どちらでもない	8	32.0
合計	25	100%

### Q.あなたは海の環境問題についてどのぐらい関心がありますか？

選択肢	回答数	割合
大変興味がある	6	24.0
興味がある	15	60.0
普通	4	16.0
あまり興味がない	0	0.0
興味がない	0	0.0
合計	25	100%

### Q.あなたはマイクロプラスチック問題を知っていますか？

選択肢	回答数	割合
はい	17	68.0
いいえ	8	32.0
合計	25	100%

## Q.1年に何回、海や水族館などに遊びに行きますか？

選択肢	回答数	割合
週に1回以上	0	0.0
月に1回以上	1	4.0
2・3カ月に1回程度	3	12.0
半年に1回程度	4	16.0
年に1回程度	14	56.0
全く行かない	3	12.0
合計	25	100%

## 【イベント後 アンケート】

## Q.イベントの内容はどうでしたか？

選択肢	回答数	割合
とてもよかった	23	92.0
良かった	2	8.0
普通	0	0.0
あまり良くなかった	0	0.0
良くなかった	0	0.0
合計	25	100%

## Q.イベントに参加して、海の環境問題への関心度は変化しましたか？

選択肢	回答数	割合
大きく変化した	11	44.0
変化した	14	56.0
あまり変化しなかった	0	0.0
全く変化しなかった	0	0.0
わからない	0	0.0
合計	51	100%

## 【ボランティア】イベントの感想（抜粋）

No.	回答
1	自分も学べるのがたくさんあったし、子どもたちと一緒にいられてすごく楽しかった。
2	コミュニケーションをとることは、大人になっても大事になってくるし、海を守るために、レジ袋をもらわずエコバックをもっていく。
3	たくさんの人と関わって楽しくてすごく良い経験になった。
4	海でゴミが落ちていて汚れているのを見て拾おうと思った。
5	宗像についてより知る機会になった。
6	ポイ捨てをしないのは当たり前だけれど、ゴミが落ちていたら拾えるようにしたい。
7	ゴミ出しの時でも分別したり、袋をしっかり結んだりしようと思った。
8	海にある打ち上げられたゴミを減らせないか調べようと思った。
9	宗像の世界遺産について何となく知っていたがより深く知ることができた。
10	現在の海の状態について知る機会が少なく、ゴミの問題の深刻さを知った。
11	浜に落ちているゴミを拾うだけでなく、普段から道端に落ちているゴミを拾うことも海をきれいにできると学んだ。
12	日本の海、世界の海はつながっているので1人1人が意識してゴミをポイ捨てするのを辞めなければと思う。
13	美しい海を守っていくために学びを深めるとともにそれを子どもたちに伝えていきたい。
14	海をより身近な環境として捉えられた。
15	魚の中身を初めて見て驚いた。
16	流れ着くゴミの量の多さに驚きました。
17	海に入るのが初めてであったため、海の中で動くことの大変さを知り、危険だと思いました。
18	海に関する環境問題について理解を深めたいと思った。
19	世界遺産を守り続けるためには、今自分ができることをやっていくことが大事だと気づいた。
20	プラスチックの使用をおさえようと思った。

### FBS福岡放送

8月27日（土） 夕方地元ニュース枠にて放映

800の悩みから生まれたサービス。体の不自由な人に服の自由を Yahoo! JAPAN

**YAHOO! JAPAN** ニュース IDでもっと便利に新規取得  
ログイン ふるさと納税でPayPayポイントもらえる

キーワードを入力 | Q

トップ 速報 ライブ 個人 オリジナル みんなの意見 ランキング 有

主要 | 国内 | 国際 | 経済 | エンタメ | スポーツ | IT | 科学 | ライフ | 地域

### 海を守る心をはぐくむ「むなかたSDGs教室」小学生56人が参加

8/27(土) 18:09 配信

**FBS福岡放送**

FBS福岡放送

子どもたちに海を守る気持ちを育んでもらおうと、福岡県宗像市で27日、体験型のイベントが開かれました。

宗像市神湊には小学4年生から6年生まで、56人の参加者が集まりました。

「むなかたSDGs教室」は、海の豊かさを学び、守ることをテーマにしたイベントで、子どもたちは浜辺で地引き網などを体験しました。青空のもと、力を合わせて海に張った網をゆっくりとたぐり寄せます。

♪参加した小学生  
「すごい」「めっちゃおる！」

子どもたちは、網にかかったサバやブリなどを見て目を輝かせていました。

♪小学4年生  
「網を引くのが重くて…大きな魚がたくさん入っていてうれしかったです」

主催者は「イベントを通して海を守る意識が少しでも芽生えてくれれば」と話していました。

このイベントは9月17日にも行われ、浜辺の清掃活動や、ゴミを使ったアート作りなどが予定されています。

この記事はいかがでしたか？  
リアクションで支援しよう

📖 記事に関する報告

🎓 学びがある   
💡 わかりやすい   
🔥 新しい視点

最終更新: 8/27(土) 18:09  
FBS福岡放送

## 読売新聞

### 8月28(日)付 福岡版朝刊にて掲載

23 2022年(令和4年)8月28日(日曜日) 福岡版

## 福岡

### 地引き網 小学生が体験 海の大切さ、豊かさ学ぶ

魚を大切に育て、食べる喜びを体験する小学生

「捕獲した魚、宗像・沖ノ島と関連産群の世界遺産登録5周年関連事業で、海の大切さや豊かさについて学ぶ「むなかたSDGs教室」のイベントDAY1が27日、宗像市の県立少年自然の家「玄海の家」で開かれ、小学生約60人と、高校生、大学生のボランティア約30人が参加した。

日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で、読売新聞西部本社、玄海の家、宗像市でつくる「海を守るうむなかた実行委員会」が主催した。

子どもたちは、宗像漁協神湊支所の漁師9人の協力で地引き網に挑戦。プリの子やサバ、タイなどが姿を見せると歓声を上げて喜んだ。「生の魚にさわるのは初めて」という参加者もいる中、漁師や学生ボランティアから教わりながら自分たちでさばれた。カヌー体験や、沖ノ島について学ぶセミナーもあった。

宗像市立赤間小5年の石田莉菜さん(10)は「網引きみたいにくくて、こんなにいっぱいおとれ。魚にさわれないけど、やるしかない」と意を決して野外炊飯場へ。福津市立西郷小6年の田井中 隼樹君(12)は「小さい頃からお父さんやおじいちゃん連れて行って行ったので、海は身近なもの。海を汚すのは人間が出すごみだから、全世界でゴミを捨てないようにしてほしい」と話した。

DAY2は9月17日、宗像市の鐘崎海岸と海の道むなかた館で、ゲーム形式で浜をきれいにするビーチクリーンや海ごみを使ったアート作りなどを行う予定。

### 読売新聞 オンライン

トップ 新型コロナ ウクライナ情勢 紙面ビューアー オピニオン 連載 コラム 特集

新着 社会 政治 経済 スポーツ 国際 地域 科学・IT エンタメ・文化 ライフ 医療・健康

### むなかたSDGs教室 地引き網小学生が体験 海の大切さ、豊かさ学ぶ

2022/08/28 05:00

この記事をスクラップする



「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連産群の世界遺産登録5周年関連事業で、海の大切さや豊かさについて学ぶ「むなかたSDGs教室」のイベントDAY1が27日、宗像市の県立少年自然の家「玄海の家」で開かれ、小学生約60人と、高校生、大学生のボランティア約30人が参加した。



日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で、読売新聞西部本社、玄海の家、宗像市でつくる「海を守るうむなかた実行委員会」が主催した。

子どもたちは、宗像漁協神湊支所の漁師9人の協力で地引き網に挑戦。プリの子やサバ、タイなどが姿を見せると歓声を上げて喜んだ。「生の魚にさわるのは初めて」という参加者もいる中、漁師や学生ボランティアから教わりながら自分たちでさばれた。カヌー体験や、沖ノ島について学ぶセミナーもあった。

### NTTデータグループが「え！実家の価値を調べられるサイト」を究明

【PR】NTTデータスマートソーシング on best note

### 牛乳メーカーが遂に発見！旨密度を半分で高める注目成分

【PR】朝日メグミルク

Recommended by Outbrain

DAY2は9月17日、宗像市の鐘崎海岸と海の道むなかた館で、ゲーム形式で浜をきれいにするビーチクリーンや海ごみを使ったアート作りなどを行う予定。

## 毎日新聞

### 8月28(日)付 福岡版朝刊にて掲載

## 福岡

### 地引き網など体験 「海と日本プロジェクト」の一環 むなかたSDGs教室開催

魚を大切に育て、食べる喜びを体験する小学生

「捕獲した魚、宗像・沖ノ島と関連産群の世界遺産登録5周年関連事業で、海の大切さや豊かさについて学ぶ「むなかたSDGs教室」のイベントDAY1が27日、宗像市の県立少年自然の家「玄海の家」で開かれ、小学生約60人と、高校生、大学生のボランティア約30人が参加した。

日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で、読売新聞西部本社、玄海の家、宗像市でつくる「海を守るうむなかた実行委員会」が主催した。

子どもたちは、宗像漁協神湊支所の漁師9人の協力で地引き網に挑戦。プリの子やサバ、タイなどが姿を見せると歓声を上げて喜んだ。「生の魚にさわるのは初めて」という参加者もいる中、漁師や学生ボランティアから教わりながら自分たちでさばれた。カヌー体験や、沖ノ島について学ぶセミナーもあった。

宗像市立赤間小5年の石田莉菜さん(10)は「網引きみたいにくくて、こんなにいっぱいおとれ。魚にさわれないけど、やるしかない」と意を決して野外炊飯場へ。福津市立西郷小6年の田井中 隼樹君(12)は「小さい頃からお父さんやおじいちゃん連れて行って行ったので、海は身近なもの。海を汚すのは人間が出すごみだから、全世界でゴミを捨てないようにしてほしい」と話した。

DAY2は9月17日、宗像市の鐘崎海岸と海の道むなかた館で、ゲーム形式で浜をきれいにするビーチクリーンや海ごみを使ったアート作りなどを行う予定。

### 地引き網など体験 「海と日本プロジェクト」の一環 むなかたSDGs教室開催 /福岡

海を守る大切さを学ぶ「むなかたSDGs教室」が27日、宗像市の県立少年自然の家「玄海の家」であり、小学4～6年の児童約60人と高校・大学の学生ボランティア約30人が参加した。

### むなかたSDGs教室 DAY2 概要

日時 : 2022年9月17日(土) 9:30~17:30  
 会場 : 鐘崎海岸、海の道むなかた館  
 参加者 : 小学校4年生~6年生 計35名\*  
 ボランティア : 福岡教育大学 3名  
                   日本赤十字九州国際看護大学 14名  
                   福岡県立宗像高校 6名  
                   東海大学付属福岡高校 7名 計30名\*  
 \*小学生当初参加42名、ボランティア当初参加34名  
 (コロナ感染等により当日欠席)

### 【タイムスケジュール】

時間	項目		場所
9:30	「海の道むなかた館」集合		——
9:40	開会式		講義室
10:30	ビーチクリーン		鐘崎海岸
10:50	ごみの分別作業		鐘崎海岸
12:20	昼食		講義室、 体験学習室
13:20	【Aグループ】海洋ごみ 講座+ごみアートづくり	【Bグループ】オリジナル 新聞づくり	講義室、 体験学習室
15:20	【Aグループ】オリジナル 新聞づくり	【Bグループ】海洋ごみ 講座+ごみアートづくり	講義室、 体験学習室
17:10	閉会式		体験学習室
17:30	解散		——

\*会場までは、小学生については保護者による送迎とし、ボランティアについては貸切バスで送迎。また、海の道むなかた館⇄鐘崎海岸の移動は全員貸切バスを利用。

### 開会式

内容：主催者及び関係者挨拶、注意事項の説明、班内でのアイスブレイク\*、アンケート回答など。

\* イベント中は1班あたり、小学生4名+ボランティア3名程度の班をつくり、合計10班で活動してもらいました。



### ビーチクリーン

講師：一般社団法人シーズズ

内容：鐘崎海岸にて約30分間ごみ拾いを行いました。集めたごみの総量やごみの排出国に応じて得られるポイントを競うゲーム形式で実施しました。



### ごみの分別作業

講師：一般社団法人シーズズ

内容：配布した集計表に沿ってごみの種別や排出国別に分別してもらいました。



ビーチクリーン 海ゴミ集計表

①燃えるゴミ	(	kg)
②燃えないゴミ	(	kg)
③プラスチック	(	kg)
④発泡スチロール	(	kg)
		(合計 kg)

国別ポイント

中国 (コード 690or691) (※ 1 ポイント)	個
日本 (コード 45or49) (※ 2 ポイント)	個
韓国 (コード 880) (※ 3 ポイント)	個
台湾 (コード 471) (※ 5 ポイント)	個
ベトナム (コード 893) (※ 10 ポイント)	個
その他 (※ 15 ポイント)	個
(合計 ポイント)	

### 海洋ごみ講座

講師：一般社団法人シーズズ

内容：漁師の立場から、普段目にする海の環境やその影響について語っていただきました。



### ごみアートづくり

講師：福岡県立少年自然の家「玄海の家」

内容：ビーチクリーンで拾ったごみを使って、ウミガメのオブジェづくりを行いました。



### オリジナル新聞づくり

講師：読売新聞西部本社「新聞のちから」委員会

内容：イベントで印象に残ったことをベスト3にまとめ、A3用紙に記事として書いてもらいました。シールや写真も使用し、個性あふれる作品になりました。



### 閉会式

内容：主催者及び関係者挨拶、アンケート回答、ビーチクリーンの結果発表など。  
ビーチクリーンの結果発表では総得点上位3チームに景品を贈呈しました。



#### 【ビーチクリーンの景品】

- ・世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 オリジナルグッズ（宗像市提供）
- ・海洋ごみで作った陶器（一般社団法人シーズンズ提供）
- ・塩サイダー、フルーツジュース、ポテトチップス（道の駅むなかたで購入）



△集合写真

### 写真



◁イベントDAY2の様子を動画に収めています。

参加した小学生にイベント前とイベント後でアンケートを実施しました。

## 【イベント前 アンケート】

### Q.あなたは海が好きですか？

選択肢	回答数	割合
はい	29	82.9
いいえ	0	0.0
どちらでもない	6	17.1
合計	35	100%

### Q.あなたは海の生き物や環境問題についてどのくらい関心がありますか？

選択肢	回答数	割合
大変興味がある	11	31.4
興味がある	14	40.0
普通	8	22.9
あまり興味がない	1	2.9
興味がない	1	2.9
合計	35	100%

### Q.あなたは海洋ごみ問題を知っていますか？

選択肢	回答数	割合
はい	33	94.3
いいえ	2	5.7
合計	35	100%

## Q.1年に何回、海や水族館などに遊びに行きますか？

選択肢	回答数	割合
週に1回以上	2	5.7
月に1回以上	7	20.0
2・3カ月に1回程度	9	25.7
半年に1回程度	9	25.7
年に1回程度	8	22.9
全く行かない	0	0.0
合計	35	100%

## 【イベント後 アンケート】

## Q.イベントの内容はどうでしたか？

選択肢	回答数	割合
とてもよかった	29	93.5
良かった	2	6.5
普通	0	0.0
あまり良くなかった	0	0.0
良くなかった	0	0.0
合計	31	100%

## Q.イベントに参加して、海の生き物や環境問題についての興味は変化しましたか？

選択肢	回答数	割合
大きく変化した	18	58.1
変化した	12	38.7
あまり変化しなかった	1	3.2
全く変化しなかった	0	0.0
わからない	0	0.0
合計	31	100%

## 【小学生】イベントの感想（抜粋）

No.	回答
1	初めて知ることがたくさんで楽しかったです。
2	このイベントを体験して、海のことをもっと好きになったなと思いました。
3	今日のイベントを通してもっと海を大切にしていきたいと思いました。
4	ごみを捨てないように少しでも頑張りたいです。
5	陸に流れ着いたごみを拾うことが大切だと思いました。
6	ただのごみだったものをアートにすることができる体験ができて良かったです。
7	初めて知ること・やることがいっぱい、またあったら次も参加したい。
8	陸にたどり着いたごみは、海のごみの数%だと知り、驚きました。
9	楽しみながら海のごみ問題と向き合えた。
10	海について色々知れたけど、もっともっと知りたいです。
11	ビーチクリーンもゲーム形式で楽しかったし、ごみアートづくりも楽しかったです。
12	ごみがウミガメの作品になって嬉しかった。
13	半分以上海にごみがあることにびっくりしました。
14	色んな人とペアになって楽しく遊べた。
15	ごみ問題について色々知れた。
16	ごみが海の底に沈んでいるとは思わなかった。
17	海のごみが予想以上に多くてびっくりしたし、これからはごみをなるべく出さないようにしようと思いました。新聞を書いて思い出にも残ったし、思ったことをたくさん書けたから良かったです。
18	海のごみにも種類があって、びっくりしました。
19	海ごみ問題をより詳しく知れた。
20	ボランティアの人とも一緒に仲良くなれて楽しかった。

参加したボランティアにイベント前とイベント後でアンケートを実施しました。

## 【イベント前 アンケート】

### Q.あなたは海が好きですか？

選択肢	回答数	割合
はい	24	80.0
いいえ	0	0.0
どちらでもない	6	20.0
合計	30	100%

### Q.あなたは海の環境問題についてどのぐらい関心がありますか？

選択肢	回答数	割合
大変興味がある	6	20.0
興味がある	15	50.0
普通	8	26.7
あまり興味がない	1	3.3
興味がない	0	0.0
合計	30	100%

### Q.あなたはマイクロプラスチック問題を知っていますか？

選択肢	回答数	割合
はい	23	76.7
いいえ	7	23.3
合計	30	100%

## Q.1年に何回、海や水族館などに遊びに行きますか？

選択肢	回答数	割合
週に1回以上	0	0.0
月に1回以上	2	6.7
2・3カ月に1回程度	5	16.7
半年に1回程度	7	23.3
年に1回程度	8	26.7
全く行かない	8	26.7
合計	30	100%

## 【イベント後 アンケート】

## Q.イベントの内容はどうでしたか？

選択肢	回答数	割合
とてもよかった	24	82.8
良かった	5	17.2
普通	0	0.0
あまり良くなかった	0	0.0
良くなかった	0	0.0
合計	29	100%

## Q.イベントに参加して、海の環境問題への関心度は変化しましたか？

選択肢	回答数	割合
大きく変化した	20	69.0
変化した	8	27.6
あまり変化しなかった	1	3.4
全く変化しなかった	0	0.0
わからない	0	0.0
合計	29	100%

## 【ボランティア】イベントの感想（抜粋）

No.	回答
1	海は好きだったけど、海のごみについて知らないことがたくさんありました。今日学んだことを意識して生活し、私の好きな海を守ってみたいです。
2	私たちが拾ったごみは、海洋ごみのほんの一部でまだまだごみはたくさんあるということが分かった。
3	海洋ごみについてより知ることができ、楽しい活動ができました。
4	海のごみを拾っても次の日にはどんどんごみが増えて、元通りに戻ってしまうので、またこのようなイベントがあれば参加したいです。普段「ごみ」には良い印象がないですが、ごみアートで拾ったごみを活用し、子どもたちと楽しく製作することで、良い思い出となりました。
5	実際に海のごみを目にする事で、改めて多量のごみが漂流していることを知り、今日のイベントで少しでも貢献できたので良い機会だったと感じました。
6	日本と他国、それぞれの生き物や環境を守るためにも、マナーを守り自然を大切にしたいと思った。
7	海のごみというとペットボトルやプラスチック、発泡スチロールの破片しか想像できなかったが、重さも大きさもあるごみが溢れている深刻さや漁師さん方の努力を知ることができました。
8	小学生の気づきや率直な感想などに驚いた。
9	海のごみ問題についてたくさんを知れて、海に対する考え方が変わりました。
10	海のごみのこととかこれからどんどん増えていくということを知って、少しでもごみを減らしたいのでSDGsに貢献したいと思いました。
11	海のごみが大きく4種類に分かれていることを初めて知り、環境への影響が大きいことを改めて知ることができて良かった。
12	ごみを減らしたり、環境に配慮された商品を買ったりしようと思った。
13	想像以上に、世界の海はごみにまみれていて、魚など海に生きる生物が危険な状況であることに気づくことができました。「なんでこんなにごみを捨てるんだ」という子どもの言葉にとっても考えさせられた。
14	多くの人が協力しているイベントで、子どもも大人も楽しめる、興味を持てるとても良い機会だと思いました。
15	海ごみアートの最後に、ウミガメのお腹の中がゴミだらけだったらと考えるところが考えさせられた。
16	海ごみが想像より多かった。海町で育ってきたので、自分の子どもたちも海で遊べるようなきれいな海を守り続けたいと思った。
17	海ごみの種類や捨てる量、捨てるための費用を知り、環境問題の深刻さをより理解することができました。

### 読売新聞

9月18(日)付 福岡版朝刊にて掲載

19 地域 13 S 福岡 2022年(令和4年)9月18日(日曜日) 巻 号

## 福岡



西部本社  
〒810-8581  
福岡市中央区赤坂1-16-5  
社会部  
☎092-715-5641 Fax 715-5509  
s-syakai@yomiuri.com  
筑紫支局  
☎092-599-3003 Fax 599-3135  
福岡東支局・宗像通信部  
☎092-941-5680 Fax 941-5681  
糸島通信部  
☎092-324-4135 Fax 324-4138

購読は  
**0120-4343-81**

福岡北東読売会 092-672-1719  
福岡西南読売会 092-924-5331  
【広 告】092-741-8972  
【折り込み】092-722-4050  
【事 業】092-715-6071

### 当番医

18日  
県救急医療情報センター  
092-471-0099  
24時間体制で医療機関を紹介

【福岡地区】◆総合▽急患センター(早・百道浜=847・1099)◆外・内・小児・産婦人科は9～翌7時30分、眼・耳鼻喉科は9～23時30分◆内小児科▽東診療所(東保健所=651・3835)▽南診療所(南保健所=541・3299)◆歯科▽急患診療所(中・大名=752・0848)9～18時30分◆外科▽福岡輝栄会(東・千早=681・3115)▽溝口整形(中・天神=721・5252)▽那珂川(南・向新町=685・3531)▽安藤(城・別府=831・6911)▽吉村(早・西新=841・0835)▽白十字(西・右丸=891・2511)  
【筑紫地区】◆外科1次▽まつの(大宰府市=018・1521)◆



鐘崎海岸に打ち上げられた海洋ごみを集める参加者ら

## 海洋ごみ回収 児童ら汗

課題学び新聞にまとめる



「神宿る島」宗像、沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録5周年関連事業「むなかたSDGs教室」のイベントDAY2が17日、宗像市の世界遺産ガイダンス施設「海の道むなかた館」鐘崎海岸で開かれた。小学生35人と、高校生、大学生のボランティア30人が参加し、世界的な課題となっている海洋ごみについて学んだ。

日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で、読売新聞西部本社、県立少年自然の家「玄海の家」、宗像市でつくる「海を守ろうむなかた実行委員会」が主催した。

参加者は10の班に分か

れ、鐘崎海岸に打ち上げられたペットボトルや発泡スチロール、漁具などのごみを拾った。集めた重量と、中国や日本、韓国といった排出国別に決められたポイントの合計を競うゲーム形式で回収し、分別した。

むなかた館では、海洋環境の保全と持続可能な漁業を目指す漁師らのグループ「シーソーンズ」代表理事の権田幸祐さん(38)から、深刻化する海洋ごみについて学習。玄海の家職員からごみを使ったアート作りを教わり、読売新聞西部本社「新聞のちから」委員会の講師と共に、教室で学んだことや思い出を新聞にまとめた。

宗像市立赤間西小6年の倉住咲良さん(10)は「海岸は思った以上にごみが多かった。ごみがある海は悪い海。一人一人が捨てな

「直接避難」準備 県内は24市町村  
災害時の要支援者向け  
災害時に要支援者が自宅などから福祉避難所に直接向かう「直接避難」について、県は16日、態勢を整えている自治体が、県内の4割にあたる24市町村にとどまることを明らかにした。

県議会代表質問で、公明党県議団の豊岐和郎議員の

◆新型コロナウイルスの感染者数＝16日発表分(県ホームページに基づく。居住地別)

北九州市	495	宮崎市	18
福岡市	753	若狭市	21
北九州	87	若狭市	23
福岡市	150	若狭市	22
北九州	35	若狭市	65
福岡市	75	若狭市	14
北九州	19	若狭市	169
福岡市	65	若狭市	68

### TVQ九州放送

9月17（日） 夕方地元ニュース枠にて放映



テレQ(TVQ九州放送)

子どもたちが、海岸の清掃活動を通して環境問題や海の豊かさを学ぶ教室が、宗像市で開催されました。

鐘崎海岸で開催された「むなかたSDGs教室」は、福岡県内に住む小学4年生から6年生の児童や、学生ボランティアなど合わせて65人が参加しました。これは、宗像・沖ノ島と関連遺産群が、世界遺産に登録されて5周年を迎えることを記念して開催されたもので、参加者はグループに分かれて海岸のごみを拾い集めました。

参加した小学生：

海の魚たちが絶滅するかもしれないからそれを防ぐために参加した。（ごみ）多くてひどいなと思った。

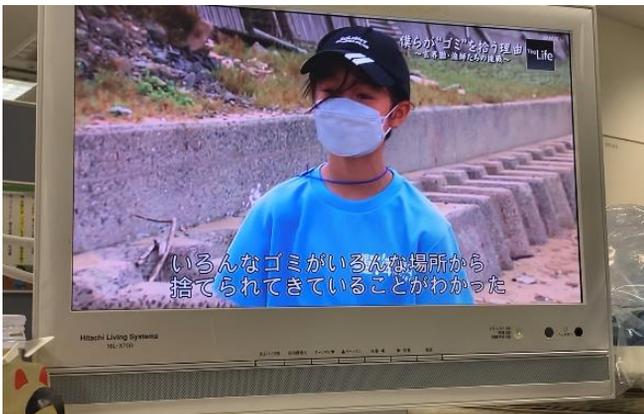
集められたごみは、日本のものが海外から流れ着いたものかを確認し、燃えるごみやプラスチックなど素材ごとに分別しながら、再生可能なものがあるかなど学んでいました。

テレQ(TVQ九州放送)

### NHK福岡

10月21（金）「ザ・ライフ」（九州全域）にて放映

【動画URL】 <https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=-vemBnx0GRU>



### 日本赤十字九州国際看護大学



ホーム > キャンパス日記 > むなかたSDGs教室イベントDay 1に参加しました

#### むなかたSDGs教室イベントDay 1に参加しました

2022年9月13日

2022年8月27日(土)に、むなかたSDGs教室のイベントDay 1に参加しました。このイベントは参加者に様々な体験を通して海に興味を持ってもらうことや、海に関する環境問題について知り、その対策を考えることを目的としています。

宗像やその周辺の地域の小学4～6年生が参加し、地引網・魚捌き体験やカヌー体験、世界遺産セミナーが行われ、私たちは参加者の活動のサポートや準備を行いました。

当日、魚捌き体験では子ども達が自分で選んだ魚をはさみと包丁を用いて捌きました。ほとんどの子が初めての体験だったようで、皆慣れない作業に苦戦しながらも、楽しく捌いていました。私たちボランティアは子ども達が安全に実施できるよう、道具に不備がないかの定期的な確認や一緒に捌くなどの援助を行いました。

カヌー体験では子ども達がカヌーを漕ぐ人と浜辺から沖へカヌーを押す人に分かれ、一人ずつカヌーの体験をしました。私たちはカヌーの転倒の防止や、押す役割の子ども達の安全管理を行いました。最初は「海に入りたくない」「海が怖い」と言っていた子どもも、最終的にカヌーや海に興味を持ち、何度もカヌーに乗り全力で海を楽しんでいました。

最後の世界遺産セミナーでは、子ども達が皆真剣に話を聞き、環境問題についての感想や対策について考えました。私自身も話の中で初めて知ることが沢山あり、セミナーを通して多くの学びを得ることが出来ました。

また、今回の活動の問題点として、ボランティアの人数が多く情報が錯綜し、指示が分からないことがありました。そのため、大人数で情報を共有し臨機応変に対応するためにはメンバー間での報告・連絡・相談をすることが重要だと感じました。

学部2年 矢野二帆



地引網の様子



参加学生集合写真

### 福岡県立宗像高等学校



学校紹介 学校生活・行事 部活動 進路情報 交通アクセス

#### 新着情報

ホーム > 監査課 > 生徒会通信vol. 2『むなかたSDGsボランティア』

#### 生徒会通信vol. 2『むなかたSDGsボランティア』

最終更新日 [2022年10月3日]

こんにちは、生徒会執行部広報担当です！

今回は、8月27日と9月17日のSDGsのボランティアに参加した1年生の感想を紹介させていただきます。

「今回のイベントで、普段触れ合うことの少ない小学生の皆さんと海ゴミの回収やゴミアンケートを行い、SDGsについて一緒に考えることができました。また、私達の生活で出るゴミ達が海に流れてしまうことで海洋生物達はもちろん、私達人間にも悪影響があることを改めて感じました。そして、この体験を通して周りの人や友達に海の大切さを伝えていきたいと思っています。」



\* 各校のホームページより抜粋

イベントDAY1及びDAY2に参加した小学生及び高校生・大学生のボランティアには、ロゴマークをデザインしたオリジナルTシャツを配布し、イベント中に着用してもらいました。

\* 終了後、参加の記念品として各自持ち帰り。

〈小学生用〉



フロント・バックにそれぞれ海と日本プロジェクト・むなかたSDGs教室のロゴマークをデザイン

〈ボランティア用〉



イベントDAY1・DAY2に参加した小学生及びボランティアの高校生・大学生にはそれぞれ修了証書\*・ボランティア活動証明書を発行しました。

\* 修了証書はDAY1・DAY2両日参加者のみに発行。

海と日本プロジェクト むなかた SDGs 教室

## 修了証書



殿

あなたは公益財団法人日本財団の  
助成事業「海と日本プロジェクト  
むなかた SDGs 教室」において  
全課程を修了しましたのでここに  
証します



令和5年1月

海を守ろうむなかた実行委員会

実行委員長 湊ノ上 将孝



▲修了証書  
(小学生に配布)

海と日本プロジェクト むなかた SDGs 教室

## ボランティア活動証明書



殿



貴殿は公益財団法人日本財団の助成事業「海と日本プロジェクト むなかた SDGs 教室」にボランティアとして参加し、共に活動したことを証明します  
記

- 1.活動月日 令和4年8月27日(土)
- 2.活動場所 福岡県立少年自然の家「玄海の家」
- 3.活動内容 小学生を対象とした海に関連するイベント運営の補助



令和5年1月

海を守ろうむなかた実行委員会

実行委員長 湊ノ上 将孝  
(読売新聞西部本社 企画共創部長)



▲ボランティア活動証明書  
(高校生・大学生に配布)

# その他イベント

宗像市や宗像大社などで構成する実行委員会の主催事業「宗像国際環境会議」において、「むなかたSDGs教室」イベントDAY1・DAY2の様子を収録した映像を放映しました。

### 宗像国際環境会議とは？

玄界灘の海水温度の上昇により沿岸部に広がる磯焼け、漂着ゴミ（マイクロプラスチック）の問題を中心に「海の鎮守の森」構想を掲げ、海の再生事業に取り組みながら、近年の急激な海の変化への提言や情報を国内外に発信するため、2014年に設立。毎年海の問題などについて議論する会議を開催し、2022年で9回目を迎えました。

#### <実施概要>

日程： 2022年10月26日（水）～28日（金）

開催方式： オンライン配信

#### ▽タイムスケジュール

第1日目 10/26 (水)	第2日目 10/27 (木)	第3日目 10/28 (金)
	10:00-11:00 宗像大社参拝施設見学	10:00-11:00 Session 7 自然との関わり方
	11:15-12:15 Session 3 環境問題の現状と課題	11:15-12:15 Session 8 資本主義と環境問題
	12:15-13:15 昼食	12:15-13:15 昼食
13:45-14:15 開会セレモニー	13:15-14:15 Session 4 海水温度の上昇と異常気象	13:15-14:15 Session 9 生命の源泉
14:30-15:30 Session 1 世界遺産と環境問題	14:30-15:30 Session 5 最新技術と環境問題	14:30-15:00 開会セレモニー
15:45-17:00 Session 2 海の変化と再生への取組み	15:45-16:45 Session 6 経済と循環型社会	15:30-17:30 フィールドワーク ビーチクリーン 竹漁礁づくり
17:15-18:30 育成プログラム1 育成プログラム2	17:15-18:30 育成プログラム3 育成プログラム4	
19:00-20:30 交流会 オテルグレージュ	19:00-21:00 分科会 宗像ロイヤルホテル	19:00-20:30 世界遺産登録5周年 FASHIONSHOW

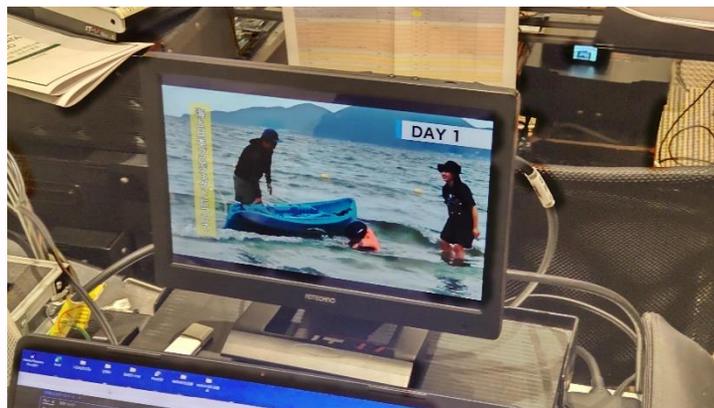
※ 10月29日(土) 11:00 豊稗祭／稚魚放流行事

関連イベント

- ▶ 「造心」中里太郎衛門展／宗像大社神宝館 10/1～12/4
- ▶ 宗像みあれ芸術祭／宗像大社、古民家橋口屋、赤間館 10/1～10/31
- ▶ むなかた祭／宗像大社、海の道むなかた館 10/29

<https://www.munakata-eco.jp/>

#### ▽放映の様子



## メディア露出

27 地域 13 S 福岡 2022年(令和4年)10月27日(木曜日) 幸野 幸野 幸野 (第3種郵便物認可)

### 福岡

福岡県 北九州 西筑 筑紫 久留米

西日本本社 〒710-5881 福岡市中央区南浜1-16-5  
 社会部 電話 075-5641 FAX 715-5509  
 e:stak@yomiuri.co.jp  
 筑紫支局 電話 092-599-3033 FAX 599-3135  
 福岡東支局・柳井橋支店 電話 092-341-5680 FAX 341-5681  
 北九州支局 電話 092-334-4135 FAX 334-4138

Y! 電話 0120-4343-81

福岡北九州管内会 092-672-1719  
 福岡西管内会 092-824-5331  
 北九州管内会 092-811-5972  
 〒810-0001 福岡市中央区南浜1-16-5  
 電話 092-334-4135 FAX 334-4138

### 海の保全 識者ら議論

#### 宗像で国際会議始まる

海の保全について議論した国際会議が、27日、宗像市の宗像国際環境会議会場で始まった。この会議は、宗像市の海を保全するための国際的な取り組みを推進することを目的として開催されている。参加者は、宗像市の海を保全するための国際的な取り組みを推進することを目的として開催されている。参加者は、宗像市の海を保全するための国際的な取り組みを推進することを目的として開催されている。

### 出産・子育て「拡充求める声」

#### 福岡市長選 2022

県都の未来は、子育て世代の活躍にかかっている。子育て世代の活躍を促すためには、子育て支援の拡充が不可欠である。子育て支援の拡充は、子育て世代の活躍を促すためには不可欠である。子育て支援の拡充は、子育て世代の活躍を促すためには不可欠である。

### 多様なニーズ 把握カギ

子育て支援の拡充には、多様なニーズの把握が鍵となる。子育て支援の拡充には、多様なニーズの把握が鍵となる。子育て支援の拡充には、多様なニーズの把握が鍵となる。

### 福岡市長選で 違反取締本部

福岡市長選で違反取締本部が設置された。福岡市長選で違反取締本部が設置された。福岡市長選で違反取締本部が設置された。

### 助成金不正受給 3事業所名公表

助成金不正受給の疑いがある3事業所が公表された。助成金不正受給の疑いがある3事業所が公表された。助成金不正受給の疑いがある3事業所が公表された。

### 税務の役割など 税務署長が講演

税務署長が講演し、税務の役割について話した。税務署長が講演し、税務の役割について話した。税務署長が講演し、税務の役割について話した。

### 早内の飛来予測

早内の飛来予測に関する情報が提供された。早内の飛来予測に関する情報が提供された。早内の飛来予測に関する情報が提供された。

### 福岡市議選の 説明会に2陣営

福岡市議選の説明会に2陣営が参加した。福岡市議選の説明会に2陣営が参加した。福岡市議選の説明会に2陣営が参加した。

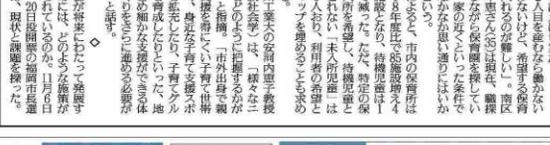
### 福岡市長選 2022

#### 県都の未来は

子育て世代の活躍を促すためには、子育て支援の拡充が不可欠である。子育て支援の拡充は、子育て世代の活躍を促すためには不可欠である。子育て支援の拡充は、子育て世代の活躍を促すためには不可欠である。

### 低出生率

出生率の低下が社会問題となっている。出生率の低下が社会問題となっている。出生率の低下が社会問題となっている。



### 天気

地域	天気	気温
福岡	晴	15-25
北九州	晴	15-25
大分	晴	15-25
熊本	晴	15-25
鹿児島	晴	15-25

### バス時刻表

路線	行き	戻り
福岡-北九州	10:00	18:00
福岡-大分	10:30	18:30
福岡-熊本	11:00	19:00
福岡-鹿児島	11:30	19:30

### 新設合宿所で 免許を短期間で取得できる、集中教習も大好評受付中!!

お財布にやさしい! 応援価格!!

普通自動車 406,200円(税込)

大型自動車 192,800円(税込)

中型自動車 201,500円(税込)

小型自動車 146,300円(税込)

普通二輪車 99,300円(税込)

牽引自動車 127,600円(税込)

大型特殊自動車 101,400円(税込)

0120-515-124

宗像市の主催事業「むなかた子ども大学」に、海と日本プロジェクト「むなかたSDGs教室」がコラボ。“海”をテーマに、一般社団法人シーズ権田代表に講師となっただき、漁師の視点から海洋環境を学ぶセミナーを開催。その後、読売新聞の現役記者が講師となって、新聞づくりを指導し、学んだことや感想をA3用紙にまとめました。

### むなかた子ども大学とは？



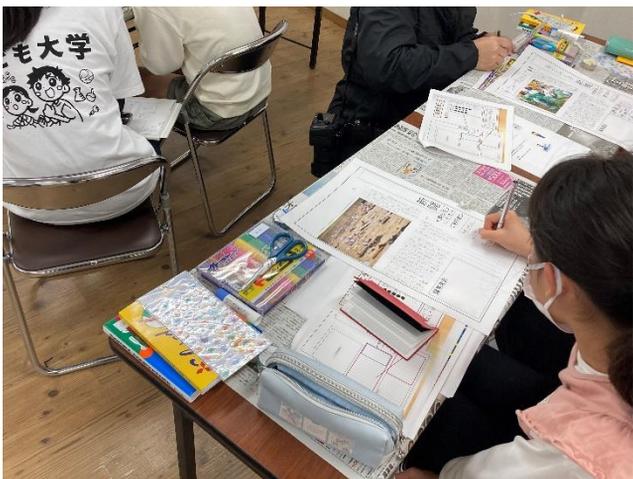
子どもの健やかな成長が保証されるまちづくりを目指し、宗像市内在住の小・中学生を対象に、大学や企業の職員が講師となって、子どもたちの意欲に基づくテーマについて、講座や体験活動を提供します。

22年度は34の大学・企業・団体が参加しました。

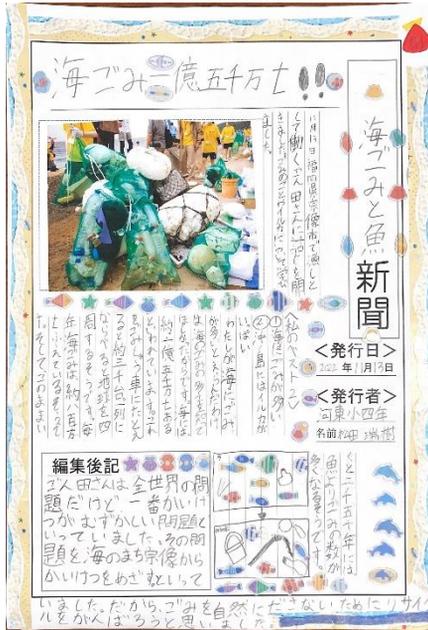
### むなかたSDGs教室 in むなかた子ども大学 概要

- 日時：2022年11月13日（日） 9:30～15:30  
会場：グローバルアリーナ宗像  
講師：一般社団法人シーズ 代表 権田 幸祐  
読売新聞西部本社 記者 大塚 晴司
- 参加者：小学4年生 3名  
小学5年生 1名  
小学6年生 2名 計6名 \* 申込は7名、1名欠席  
大学生ボランティア 4名
- 内容：1限目（40分） 海洋ごみセミナー  
2限目（40分） 取材タイム  
昼休憩（60分）  
3限目（40分） 新聞作成  
4限目（40分） 新聞作成

### 写真



## 作成した新聞





海と日本プロジェクト「むなかたSDGs教室」の一環として、宗像市立地島小学校で出前授業を開催。地島小では、生活科や総合的な学習でSDGsをテーマとした学習を取り入れており、日ごろから海洋ごみ問題や海の水質について学んでいます。出前授業では、それらの学習で得た学びをA2サイズの新聞にまとめました。



△地島小学校 SDGs学習発表会の様子（2022年11月、イオンモール福津にて）

### むなかたSDGs新聞教室（出前授業）

日時：2023年2月28日（火） 13:10～13:55

会場：地島小学校

講師：「新聞のちから」委員会 河原 久美

「新聞のちから」委員会 浜田 昭彦

参加者：小学1年生 1名

小学2年生 1名

小学4年生 3名

小学5年生 2名

小学6年生 1名 計8名

内容：生活科や総合的な学習で得た学びを記事化し、2グループに分かれて新聞作成。

### 写真



### 作成した新聞



◁作成した新聞は世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群のガイダンス施設『海の道むなかた館』で展示しました。



# イベント成果物

### ① 海洋ごみアート

イベントDAY2のビーチクリーンで集めたごみを使って、ウミガメのオブジェを作成しました。赤・黄・緑・青・黒と色とりどりの作品になりました。



### ② オリジナル新聞

イベントDAY2の参加者がイベントで印象に残ったことをベスト3にまとめオリジナル新聞を作成しました。



## 毎に遊びに行きたごみを持ち帰ろう

### SDGs新聞

【発行日】2022年 9月27日  
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 大輔

毎に遊びに行きたごみを持ち帰ろう  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

毎に遊びに行きたごみを持ち帰ろう  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

毎に遊びに行きたごみを持ち帰ろう  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

## 海のごみゼロ

### SDGs新聞

【発行日】2022年 9月27日  
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 大輔

海のごみゼロ  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

海のごみゼロ  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

海のごみゼロ  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

## 海を大切に

### SDGs新聞

【発行日】2022年 9月17日  
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 大輔

海を大切に  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

海を大切に  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

海を大切に  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

## もつと海をきれいしよう!!

### 玄界灘新聞

【発行日】2022年 9月17日  
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 大輔

もつと海をきれいしよう!!  
玄界灘新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

もつと海をきれいしよう!!  
玄界灘新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

もつと海をきれいしよう!!  
玄界灘新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

## きれいな海を守ろう

### むなかたSDGs新聞

【発行日】2022年 9月17日  
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 大輔

きれいな海を守ろう  
むなかたSDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

きれいな海を守ろう  
むなかたSDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

きれいな海を守ろう  
むなかたSDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

## 自然の大自然

### SDGs新聞

【発行日】2022年 9月17日  
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 大輔

自然の大自然  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

自然の大自然  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

自然の大自然  
SDGs新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

## たのしがたごすよ!!

### 海ごみゼロ新聞

【発行日】2022年 9月17日  
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 大輔

たのしがたごすよ!!  
海ごみゼロ新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

たのしがたごすよ!!  
海ごみゼロ新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

たのしがたごすよ!!  
海ごみゼロ新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

## 海のごみをへらそう!!

### 天才樹新聞

【発行日】2022年 9月17日  
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 大輔

海のごみをへらそう!!  
天才樹新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

海のごみをへらそう!!  
天才樹新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

海のごみをへらそう!!  
天才樹新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

## 海をFLYしよう

### 海ごみゼロ新聞

【発行日】2022年 9月17日  
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 大輔

海をFLYしよう  
海ごみゼロ新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

海をFLYしよう  
海ごみゼロ新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

海をFLYしよう  
海ごみゼロ新聞  
むなかた市 小5年 高橋 大輔

## SDGs教室の思い

### 自分新聞

宗像市で開かれた  
むなかたSDGs教室  
に参加した地引網や  
ビーチクリーンを体験した



【発行日】  
2022年9月17日

【発行者】  
赤間ハナ子  
赤間裕人

①地引網体験  
②ビーチクリーン  
③選定理由  
④楽しかったから

【編集後記】  
むなかたSDGs教室の思い  
むなかたSDGs教室に参加して、地引網体験やビーチクリーンを行いました。とても楽しかったです。また、SDGsについて学びました。これからも、海を守りたいと思います。

## みんなごみをたせつにしよう

### SDGsかんきょう新聞

宗像市で開かれた  
むなかたSDGs教室  
に参加した地引網や  
ビーチクリーンを体験した



【発行日】  
2022年9月17日

【発行者】  
赤間ハナ子  
赤間裕人

①地引網体験  
②ビーチクリーン  
③選定理由  
④楽しかったから

【編集後記】  
むなかたSDGs教室の思い  
むなかたSDGs教室に参加して、地引網体験やビーチクリーンを行いました。とても楽しかったです。また、SDGsについて学びました。これからも、海を守りたいと思います。

## 美しい自然を大切に

### 新聞

宗像市で開かれた  
むなかたSDGs教室  
に参加した地引網や  
ビーチクリーンを体験した



【発行日】  
2022年9月17日

【発行者】  
赤間ハナ子  
赤間裕人

①地引網体験  
②ビーチクリーン  
③選定理由  
④楽しかったから

【編集後記】  
むなかたSDGs教室の思い  
むなかたSDGs教室に参加して、地引網体験やビーチクリーンを行いました。とても楽しかったです。また、SDGsについて学びました。これからも、海を守りたいと思います。

## ☆海をみんなで見ればは☆

### わくわく新聞

宗像市で開かれた  
むなかたSDGs教室  
に参加した地引網や  
ビーチクリーンを体験した



【発行日】  
2022年9月17日

【発行者】  
赤間ハナ子  
赤間裕人

①地引網体験  
②ビーチクリーン  
③選定理由  
④楽しかったから

【編集後記】  
むなかたSDGs教室の思い  
むなかたSDGs教室に参加して、地引網体験やビーチクリーンを行いました。とても楽しかったです。また、SDGsについて学びました。これからも、海を守りたいと思います。

## 海に興味を持とう!!

### 宗像SDGs新聞

宗像市で開かれた  
むなかたSDGs教室  
に参加した地引網や  
ビーチクリーンを体験した



【発行日】  
2022年9月17日

【発行者】  
赤間ハナ子  
赤間裕人

①地引網体験  
②ビーチクリーン  
③選定理由  
④楽しかったから

【編集後記】  
むなかたSDGs教室の思い  
むなかたSDGs教室に参加して、地引網体験やビーチクリーンを行いました。とても楽しかったです。また、SDGsについて学びました。これからも、海を守りたいと思います。

## 海をクリーンに〜ビーチクリーン〜

### きれいな海へ新聞

宗像市で開かれた  
むなかたSDGs教室  
に参加した地引網や  
ビーチクリーンを体験した



【発行日】  
2022年9月17日

【発行者】  
赤間ハナ子  
赤間裕人

①地引網体験  
②ビーチクリーン  
③選定理由  
④楽しかったから

【編集後記】  
むなかたSDGs教室の思い  
むなかたSDGs教室に参加して、地引網体験やビーチクリーンを行いました。とても楽しかったです。また、SDGsについて学びました。これからも、海を守りたいと思います。

## 学んだこと

### 海ごみゼロ新聞

宗像市で開かれた  
むなかたSDGs教室  
に参加した地引網や  
ビーチクリーンを体験した



【発行日】  
2022年9月17日

【発行者】  
赤間ハナ子  
赤間裕人

①地引網体験  
②ビーチクリーン  
③選定理由  
④楽しかったから

【編集後記】  
むなかたSDGs教室の思い  
むなかたSDGs教室に参加して、地引網体験やビーチクリーンを行いました。とても楽しかったです。また、SDGsについて学びました。これからも、海を守りたいと思います。

## 海のごみをなくそう大作戦

### 海ごみゼロ新聞

宗像市で開かれた  
むなかたSDGs教室  
に参加した地引網や  
ビーチクリーンを体験した



【発行日】  
2022年9月17日

【発行者】  
赤間ハナ子  
赤間裕人

①地引網体験  
②ビーチクリーン  
③選定理由  
④楽しかったから

【編集後記】  
むなかたSDGs教室の思い  
むなかたSDGs教室に参加して、地引網体験やビーチクリーンを行いました。とても楽しかったです。また、SDGsについて学びました。これからも、海を守りたいと思います。

## 目指せ!!SDGsの世界へ

### むなかたSDGs新聞

宗像市で開かれた  
むなかたSDGs教室  
に参加した地引網や  
ビーチクリーンを体験した



【発行日】  
2022年9月17日

【発行者】  
赤間ハナ子  
赤間裕人

①地引網体験  
②ビーチクリーン  
③選定理由  
④楽しかったから

【編集後記】  
むなかたSDGs教室の思い  
むなかたSDGs教室に参加して、地引網体験やビーチクリーンを行いました。とても楽しかったです。また、SDGsについて学びました。これからも、海を守りたいと思います。



## 海のごみ拾い体験



今日海のごみ拾いをして、みんなの力を合わせて海をきれいにしてあげよう。

【発行日】2022年9月17日  
【発行地】福徳小4年  
【発行名】むなかたSDGs教室

①海のごみ拾い体験  
②魚のイラスト  
③お魚のイラスト

【発行日】2022年9月17日  
【発行地】福徳小4年  
【発行名】むなかたSDGs教室

①海のごみ拾い体験  
②魚のイラスト  
③お魚のイラスト

## SDGs新聞

### 「むなかたSDGs教室」にまんが!



SDGs新聞の発行に協力しました。SDGs新聞の発行に協力しました。

【発行日】2022年9月17日  
【発行地】福徳小4年  
【発行名】むなかたSDGs教室

①海のごみ拾い体験  
②魚のイラスト  
③お魚のイラスト

【発行日】2022年9月17日  
【発行地】福徳小4年  
【発行名】むなかたSDGs教室

## SDGs 取組む!!

### 自ぜん太極新聞



SDGs新聞の発行に協力しました。SDGs新聞の発行に協力しました。

【発行日】2022年9月17日  
【発行地】福徳小4年  
【発行名】むなかたSDGs教室

①海のごみ拾い体験  
②魚のイラスト  
③お魚のイラスト

【発行日】2022年9月17日  
【発行地】福徳小4年  
【発行名】むなかたSDGs教室

## 海ごみゼロ新聞

### どうしたら海のごみはゼロか。



海ごみゼロ新聞の発行に協力しました。海ごみゼロ新聞の発行に協力しました。

【発行日】2022年9月17日  
【発行地】福徳小4年  
【発行名】むなかたSDGs教室

①海のごみ拾い体験  
②魚のイラスト  
③お魚のイラスト

【発行日】2022年9月17日  
【発行地】福徳小4年  
【発行名】むなかたSDGs教室

### ③パノラマ新聞

イベントDAY1・DAY2の様様や海洋ごみ問題、参加者作成のオリジナル新聞などを掲載したパノラマ新聞（通常の新聞4頁相当）を作成しました。

<表>



この表面は、海と日本プロジェクト及びむなかたSDGs教室の概要、世界遺産の概要、イベントDAY1・DAY2の様様、海洋ごみ問題についてまとめた記事を掲載。

<裏>



この裏面は、イベントDAY2に参加した子どもたちが作成したオリジナル新聞を全員分掲載し、ギャラリースペースに。

発行部数：150,000部

主な配布先：読売新聞朝刊及び読売KODOMO新聞折込〔12万部〕

宗像市内小学校、ボランティア協力校（福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学、宗像高校、東海大学付属福岡高校）、宗像市役所、海の道むなかた館、福岡県立少年自然の家「玄海の家」〔3万部〕

## 【パノラマ新聞折込エリア】

◎ 読売新聞朝刊 **合計115,890部**

朝倉郡〔820部〕	春日市〔2,680部〕	飯塚市〔5,040部〕
朝倉市〔990部〕	糸島市〔1,600部〕	嘉麻市〔2,110部〕
小郡市〔2,900部〕	福岡市〔49,690部〕	田川市〔5,780部〕
筑紫野市〔4,830部〕	古賀市〔2,330部〕	田川郡〔2,760部〕
那珂川市〔960部〕	糟屋郡〔6,100部〕	鞍手郡〔1,460部〕
太宰府市〔1,390部〕	福津市〔3,150部〕	宮若市〔1,130部〕
大野城市〔7,110部〕	宗像市〔5,440部〕	直方市〔3,760部〕
		遠賀郡〔3,860部〕

◎ 読売KODOMO新聞 **合計4,110部**

福岡県	<b>福岡版</b>	<b>北九州版</b>	<b>筑豊版</b>	<b>筑後版</b>
	読売 96,647	読売 73,893	読売 24,571	読売 48,419
	朝日 64,581 毎日 62,774 西日本 232,755	朝日 84,803 毎日 110,643 西日本 31,917	朝日 16,304 毎日 10,937 西日本 32,465	朝日 21,785 毎日 13,755 西日本 96,941

朝倉郡〔10部〕
朝倉市〔40部〕
小郡市〔120部〕
三井郡〔30部〕
筑紫野市〔170部〕
那珂川市〔50部〕
太宰府市〔40部〕
大野城市〔280部〕
春日市〔145部〕
糸島市〔45部〕
福岡市〔2,620部〕
古賀市〔50部〕
糟屋郡〔255部〕
福津市〔105部〕
宗像市〔150部〕

<b>福岡版</b>	<b>古賀市</b> 読 2,363 朝 1,985 毎 2,260 西 5,859	<b>福津市</b> 読 3,238 朝 3,000 毎 3,395 西 5,193	<b>宗像市</b> 読 6,141 朝 4,060 毎 8,275 西 6,341	<b>北九州市</b> 読 49,771 朝 60,704 毎 85,035 西 20,054	<b>中間市</b> 読 6,631 朝 3,031 毎 3,586 西 1,322	<b>京都郡</b> 読 2,240 朝 5,278 毎 2,140 西 700	<b>北九州版</b>
<b>糸島市</b> 読 4,028 朝 1,511 毎 710 西 12,147	<b>福岡市</b> 読 47,505 朝 39,034 毎 33,094 西 127,742	<b>春日市</b> 読 2,701 朝 2,660 毎 980 西 8,993	<b>糟屋郡</b> 読 10,610 朝 2,922 毎 5,055 西 21,598	<b>遠賀郡</b> 読 6,013 朝 6,180 毎 8,275 西 3,637	<b>行橋市</b> 読 4,902 朝 4,797 毎 7,818 西 3,913	<b>築上郡</b> 読 2,123 朝 2,943 毎 650 西 1,613	<b>豊前市</b> 読 2,213 朝 3,139 毎 678
<b>那珂川市</b> 読 810 朝 560 毎 570 西 4,809	<b>大野城市</b> 読 8,090 朝 2,630 毎 2,661 西 11,018	<b>太宰府市</b> 読 1,207 朝 2,953 毎 1,770 西 7,980					
<b>筑紫野市</b> 読 5,086 朝 2,432 毎 2,555 西 11,516	<b>朝倉市</b> 読 2,529 朝 760 毎 814 西 5,994						
<b>朝倉郡</b> 読 2,339 朝 74 毎 635 西 3,565							
<b>小郡市</b> 読 2,840 朝 5,475 毎 545 西 8,575	<b>三井郡</b> 読 — 朝 — 毎 — 西 —	<b>みやま市</b> 読 1,891 朝 621 毎 1,750 西 2,727					
<b>久留米市</b> 読 20,176 朝 7,541 毎 4,712 西 33,443	<b>三瀬郡</b> 読 2,105 朝 75 毎 480 西 1,884	<b>大牟田市</b> 読 9,963 朝 3,235 毎 3,877 西 12,012					
<b>大川市</b> 読 1,986 朝 770 毎 742 西 4,491	<b>筑後市</b> 読 3,566 朝 253 毎 — 西 8,417	<b>八女郡</b> 読 — 朝 — 毎 — 西 2,678					
<b>筑後版</b>	<b>柳川市</b> 読 2,514 朝 1,514 毎 1,214 西 7,765	<b>八女市</b> 読 2,717 朝 1,965 毎 299 西 10,780	<b>うきは市</b> 読 661 朝 336 毎 136 西 4,169				
				<b>鞍手郡</b> 読 1,689 朝 490 毎 127 西 2,707	<b>直方市</b> 読 3,772 朝 4,084 毎 1,307 西 3,694		
				<b>宮若市</b> 読 1,238 朝 656 毎 643 西 1,971	<b>田川市</b> 読 4,518 朝 3,130 毎 2,397 西 3,557		
				<b>飯塚市</b> 読 4,811 朝 4,210 毎 4,418 西 12,948	<b>田川郡</b> 読 4,963 朝 2,569 毎 560 西 2,763		
				<b>嘉麻市</b> 読 2,396 朝 1,165 毎 1,485 西 4,825	<b>嘉穂郡</b> 読 1,184 朝 — 毎 — 西 —	<b>筑豊版</b>	

## ④ 福岡ふかぼりメディア「ささっとー」

読売新聞西部本社が運営する福岡をはじめとした九州の様々な情報をお届けするローカルWEBメディア「福岡ふかぼりメディアささっとー」に海と日本プロジェクトの特設コーナーを設け、イベント情報などを発信しました。

### <PC画面>



▽バナーをクリック（タップ）すると、海と日本プロジェクトの特設コーナーにリンクします。

### <スマホ画面>



### <福岡ふかばりメディアささっとー 特設コーナーの配信記事一覧>

ホーム > 企画 > 海と日本プロジェクト > むなかたSDGs教室

#### → むなかたSDGs教室



世界遺産と美しい海を未来へ  
宗像・大島でビーチクリーン

企画



海の大切さを学び理解を深める！  
地島で「むなかたSDGs  
新聞教室」

企画



宗像国際環境会議を宗像大社  
で開催 「常若」をテーマに

企画



「神宿る島」学ぶツアーに  
400人 沖ノ島の世界遺産登  
録5周年で

企画



「むなかたSDGs教室」  
イベント情報

【海と日本プロジェクト】海  
で遊び、海を学ぶ「むなか  
たSDGs教室」開催！

企画



世界遺産の海をきれいに！  
宗像・大島でビーチクリーン

企画



海ごみの実態を学んで新聞づ  
くり むなかた子ども大学

企画



カーボンニュートラルな街に  
するには？宗像国際環境会議  
イベントで学生が議論

企画



宗像の小学生が清掃活動を通  
して海の環境を体感

企画



【海と日本プロジェクト】沖  
ノ島の世界遺産登録5周年 記  
念事業や「むなかたSDGs教  
室」でゆたかな海を次代に

企画



「海の環境問題に関心を」  
漂着物に『いのち』を吹き込  
むアーティスト

企画



【海と日本プロジェクト】海  
岸清掃やごみアートで海の環  
境を学ぶ「むなかたSDGs教  
室」DAY2

企画



【海と日本プロジェクト】竹  
漁礁とアマモで海を豊かに  
「博多湾守り隊！」の活動ス  
タート

企画



【海と日本プロジェクト】地  
引網やカヌーで海の恵みを体  
感「むなかたSDGs教室」  
DAY1

企画



「チリモン」を探せ！ 虫眼  
鏡とピンセットを手に子ども  
も大人もみんな夢中に

企画



【海と日本プロジェクト】美  
しい海を未来へ 高校生らが  
海洋環境問題を議論

企画

< 1 2 >

1 2 >

<福岡ふかぼりメディアささっとー 配信記事レポート>

\*レポート集計期間：2022.06.01－2023.03.20

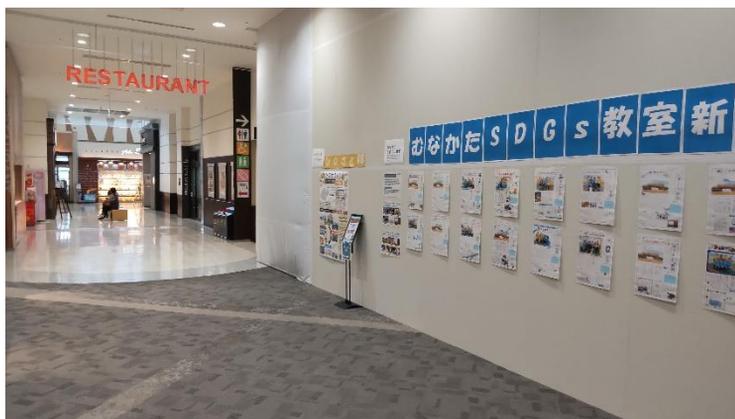
**ページビュー (PV) 数：2,274**

No	記事タイトル	配信日
1	【海と日本プロジェクト】沖ノ島の世界遺産登録5周年 記念事業や「むなかたSDGs教室」でゆたかな海を次代に	2022.06.09
2	世界遺産の海をきれいに！ 宗像・大島でビーチクリーン	2022.06.21
3	【海と日本プロジェクト】海で遊び、海を学ぶ「むなかたSDGs教室」開催！	2022.06.29
4	「神宿る島」学ぶツアーに400人 沖ノ島の世界遺産登録5周年で	2022.07.19
5	【海と日本プロジェクト】美しい海を未来へ 高校生らが海洋環境問題を議論	2022.07.25
6	「チリモン」を探せ！ 虫眼鏡とピンセットを手に子どもも大人もみんな夢中に	2022.08.27
7	【海と日本プロジェクト】地引網やカヌーで海の恵みを体感「むなかたSDGs教室」DAY1	2022.08.29
8	【海と日本プロジェクト】竹漁礁とアマモで海を豊かに「博多湾守り隊！」の活動スタート	2022.09.01
9	【海と日本プロジェクト】海岸清掃やごみアートで海の環境を学ぶ「むなかたSDGs教室」DAY2	2022.09.20
10	「海の環境問題に関心を」漂着物に『いのち』を吹き込むアーティスト	2022.09.21
11	宗像の小学生が清掃活動を通して海の環境を体感	2022.09.28
12	カーボンニュートラルな街にするには？ 宗像国際環境会議プレイベントで学生が議論	2022.10.15
13	海ごみの実態を学んで新聞づくり むなかた子ども大学	2022.11.15
14	宗像国際環境会議を宗像大社で開催 「常若」をテーマに	2022.11.17
15	海の大切さを学び理解を深める！ 地島で「むなかたSDGs新聞教室」	2023.03.01
16	世界遺産と美しい海を未来へ 宗像・地島でビーチクリーン	2023.03.02

イベントで作成した海洋ごみアートや参加者作成のオリジナル新聞、成果物として発行したパノラマ新聞を展示しました。

### ①イオンモール福津「サステナフェス2022」

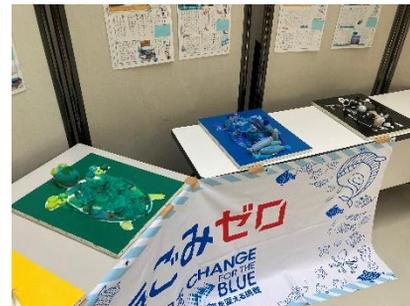
展示場所：イオンモール福津 2Fレストラン街（福岡県福津市日蒔野6丁目）  
展示期間：2022年10月29日（土）～11月6日（日）



📍 SDGsをテーマとしたサステナフェス2022（宗像市、福津市共催）で「むなかたSDGs教室」のコーナーを設けました。

### ②海の道むなかた館

展示場所：海の道むなかた館 1F（福岡県宗像市深田588番地）  
展示期間：2022年12月～展示中



📍 世界文化遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群のガイダンス施設で「むなかたSDGs教室」のコーナーを設けました。

成果物として作成したパノラマ新聞の読者アンケートを実施しました。

回答期間：2023年2月3日（金）～2月24日（金）

回答数：38件

▶パノラマ新聞内にアンケートフォームにリンクする二次元コードを記載。

●内容に関するお問い合わせ  
海を守ろうむなかた実行委員会  
読売新聞西部本社、  
福岡県立少年自然の家「玄海の家」、  
宗像市  
事務局／宗像市 総務部 秘書政策課  
☎0940-36-1055

アンケートに答えて  
宗像市の特産品を  
ゲットしよう！

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で3名様に宗像市の特産品をプレゼント！  
【回答期限 2月24日（金）17:00まで】

## <読者アンケート回答結果>

Q.年齢をご選択ください。

選択肢	回答数	割合
10歳未満	2	5.3
10代	2	5.3
20代	1	2.6
30代	1	2.6
40代	10	26.3
50代	11	28.9
60代	6	15.8
70代以上	5	13.2
合計	38	100%

## Q.性別をご選択ください。

選択肢	回答数	割合
男性	13	34.2
女性	25	65.8
回答なし	0	0.0
合計	38	100%

## Q.紙面を見て、海の環境問題への関心度は高まりましたか？

選択肢	回答数	割合
とても高くなった	22	57.9
高くなった	16	42.1
あまり変わらなかった	0	0.0
変わらなかった	0	0.0
分からない	0	0.0
合計	38	100%

## Q.マイクロプラスチック問題を知っていましたか？

選択肢	回答数	割合
知っていた	38	100.0
知らなかった	0	0.0
合計	38	100%

## Q.年間で海に行く頻度はどのくらいですか？

選択肢	回答数	割合
0日（全く行かない）	5	13.2
1日	6	15.8
2～3日	10	26.3
4日～9日	5	13.2
10日以上	12	31.6
合計	38	100%

## Q.地球上の海洋ごみの量が魚の量を上回るのは何年と予測されているでしょうか？

選択肢	回答数	割合
2040年	1	2.6
2050年	37	97.4
2060年	0	0.0
2070年	0	0.0
合計	38	100%

## Q.紙面を見た感想をご自由にご記入ください。

No.	回答
1	分かりやすい文章で、海洋ゴミ問題を教えていただき、自分にできることはやりたいなと思いました。
2	こんな、報道は随時してもらいたい。
3	自分の生活を考えると海洋ゴミの現状が想像できないけど個人それぞれが意識して生活しなければならぬと思います。

No.	回答
4	近くに海があり、たまに散歩に行きます。シーグラスや貝殻拾いが好きなので下を向いて歩いています。大きいゴミは比較的少ないのですが、マイクロプラスチックといわれる細かいゴミは多いと感じました。今度行く時はザルのようなものを持って行って砂を掬ってみようと思いました。何気に訪れているところがこのような記事によって次訪れた時の行動が変化に繋る、少しずつでも増えていくと良いですね。
5	子供が小さいころには、よく海へ行っていました。その時もゴミがあって足元が危ないなあと思ったこともありました。海の動物がビニール等を飲み込んでいることも報道等で知り、心が痛くもなりますね。今後の子供達の環境のためにも、地球のためにもこの問題、取り組みについては継続して行った方が1番だと思いました。
6	海洋ゴミに関心しました。海の日に国を挙げてゴミ収集のキャンペーンをしましょう。
7	小学生の頑張っている姿が頼もしく感じられました。
8	私達が快適に生活できるようになったけれど、ゴミ問題は皆が真剣に取り組んでいかなければいけない大問題です。海のゴミ問題もですが道ばたに平気でゴミを捨てる何も考えてないからできる事なんでしょうが、私はそのゴミを拾います。海も同じです。そのうちに魚もいなくなり、ゴミが泳いでる。そんな光景が目に見えてきます。まだ昔のようにきれいな海を取り戻せると私は思ってます。ボランティア活動ゴミ拾い。全国的に広がる事を願ってます。
9	面白い取り組みだと思っています。
10	素晴らしかったです。
11	むなかたSDGs教室イベントに参加された皆さんの思いが、紙面から伝わりました。海洋環境対策に取り組まれてる方達のご苦勞は既に理解できているつもりです。この様に若い頃からの教育や習慣で、世界の海洋環境を変えていこうとする若者達に敬意を表したいと思います。日本は海に囲まれて、海洋環境から目が離せない国です。私達人間が海洋環境を悪化させて、それが又私達に回りまわってくる事を自覚して、一人一人が、考えて行動を起こさないと、美しい地球を守れませんね。私は生ゴミコンポストを作り家庭菜園に還しています。又洗剤にも関心を持ち、賢く生きたいと考えてます。これからも小さなSDGsを探します。それを周りの未来ある子供達に教え伝えていく事が私達大人の最後の仕事だと考えてます。日本の美しい山や海の風景を守っていきましょう。最後に新聞を作り、呼びかけて下さった小学生の皆さんの明るい未来を祈っています。
12	こどもにもわかりやすい内容だったようで、娘も興味を持って読んでいました。今後もこういった企画を提案していただきたいと思います。
13	せめて自分のごみは、適切な方法で処理するように、こころがけたい。小さな取り組みだけど、その積み重ねが大事だと思う。
14	身近な宗像の海での取り組みを詳しく知ることが出来ました。特に子どもたちの頑張りには感心して、「大人も頑張らないと」という気持ちになりました。
15	一人でも、出来ないではなく、生活スタイルとして日々資源問題に取り組む様、心がける。

No.	回答
16	簡潔に書かれていて理解しやすかった。
17	このような取り組みがあることを知りませんでした。未来を担う子ども達を頼もしく思うと同時に、我々大人も努力しなければ、と思いました。
18	「むなかたSDGs教室」に関するご説明やSDGs新聞興味深く拝見しました。私自身、海の近くで生まれ育ったので「きれいな海を未来へ残すために」という言葉が心に残りました。子どもの頃から意識を高く持つことも重要だと感じますし、自分自身が出来る事を考えて実行したいです。
19	SDGsは今後大切な環境問題です。自分達にできる事、1つ1つ実行していきます。
20	変わった紙面で目を引きました。多くの児童や学生さん達が、教室活動を通じて学び体験し清掃していることを知りました。ありがとうございます。昔一度観光に行ったことがあります。その時は「宗像大社の島」自体、神体で女性は近寄れないときき、厳かすぎて不気味にも感じました。紙面を読み、今日改めて歳を重ね行ってみたいと思いました。
21	SDGsの小学生新聞の内容に関心しました。
22	たまたま実家で読売新聞を読もうとして、この通信が目にとまりました。小学4～6年生の参加者が作った新聞を読んで、楽しく海の環境を守り・伝える活動ができたことがわかりました。私が非常勤で勤務する添田小学校でSDGsについて学習しているので、早速図書室前廊下に掲示しました。しかし、片面しか掲示できないので、もう一部あればと思います。私宅も勤務先も読売新聞では無いので、探しましたが見つかりません。どちらに申し込めば手に入るでしょうか？
23	海の近くに住んでいますが、自分でも協力できる事があるのに気付きました。
24	子どもたちが一生懸命書いた新聞がとても素敵で印象的でした。
25	繰り返し使えるものを買うようにしたりしてごみを減らしていきたいです。
26	みんなの新聞が素敵でした。マイクロプラスチックがあることはしてましたが、こんなに近くのゴミが捨ててあるとは知りませんでした。写真いっぱい、大きくて読みやすかったです。そしてTシャツ、カッコいいです！
27	数年でもいいから、早く、地球のゴミを減らしたい。
28	良い取り組みですね。これからも続けて欲しいです。私も気が付いたらゴミを片付けて行きたいです。
29	海のゴミ毎日拾っても、流れてくると福津、古賀の知り合いからききびっくりしていましたが、子供達も、興味を持ち、考える機会が出来てよかったです。
30	海に行くと必ず浜辺にあるゴミを見かけます。子供と一緒にビーチクリーンに参加してみたいなと思いました。

No.	回答
31	近場（宗像市）でこういったプロジェクトがあることを知り、地球環境のため、子ども達の意識のためにも参加したい取り組みだと感じた。一人一人の小さな行動で、子ども達が気持ちよく住み続けられる地球、地域にしていきたいと再確認させられた。子ども2人も熱心に記事を読んでいます。
32	釣りによく行くので、目にする機会が多い事で、何回かはゴミ拾いに参加したけど、やはり隣国からのゴミが多い。日本からのものが東の国に上がらない様に、ゴミは適切に処理する様に心がける他、国際的な取り決め等も決める必要があるだろうし、少しでも自分の事と意識をもつべきである。
33	わかりやすく簡潔に書いてあり、読みやすかったです。動物が好きなので、ウミガメなどの生き物に影響が出るのが悲しく思います。自分自身はゴミを捨てたりはしませんが、風に乗って飛んでしまったりすることもあるだろうし、落ちているものを拾っていかないと環境は守られないと思います。心がけていこうと思います。
34	こんなにゴミが流れ着いているとは知りませんでした。息子は刺身が好きなので、「食べられなくなったらいやだな…」と言ってました。いろいろ考えさせられました。
35	オリジナル新聞をもっと自由度を高くしてくれると、良かったかなと思いました。
36	やはり実際に体を使って体験することは大切だと感じます。魚を触ることさえ特別な事になっている子ども…に限らず、人間と自然の距離を残念に思います。でも、密接に繋がっていることを再認識しました。
37	次世代に向けた海洋ゴミ問題の重要性に、真剣に取り組む事に気付かされた。
38	若い学生による海洋ごみに対する取り組みに大変感銘を受けました。私も微力ながらゴミの分別など気を付けたいと思います。

上記のほか、パノラマ新聞を見たボランティア団体「一般社団法人アースプロジェクト」（福岡市）から電話で問い合わせがあり、「非常にすばらしい企画。紙面を見て感動した。来年度も実施されるなら大学生ボランティアに参加させたい」との申し出がありました。

## <プレゼントキャンペーン>

アンケート回答者の中から抽選で3名に宗像市特産品詰め合わせが当たるキャンペーンを実施。

—賞品内容—

- ・むなかた鶏カレー
- ・きなこくるみ
- ・宗像わかめ豚骨ラーメン
- ・漁師の茶漬け
- ・むなかた鶏のやわらか炭火焼

各1個



—報告書作成者—

## 読売新聞西部本社

事業推進室 企画共創部

〒810-8581

福岡市中央区赤坂1-16-5

TEL 092-715-4354

担当：関 浩輝